

小学校 低 学年＜ 1－（ 10 ）＞

学 年	1年	時 間	学級活動（帰りの会等短学活で） 「大雨だ！」1年②	時 期	6月～7月 または適時	時 数	20分～25分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 大雨がもたらす大規模な災害によって、自分の身の回りに起こる災害の危険を知る。 大雨災害から、自分の命を守るための方法について理解し、安全に行動することができるようにする。 						
資 料・準 備	スライド(文科省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)低学年・気象災害「大雨だ！強風だ！かみなりだ！」)						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 大雨による気象災害を学習することを知る。 ◇まちに大雨がふったとき、どうしたらよいか学習したことを思い出してみましょう。	○「大雨だ！」1年①で学習したことを思い出させる。
展 開	2 山の近くに大雨が降ったとき、どんな危険があるか、どのように身を守ればよいか考える。 スライド2-2-1を提示 ◇山の近くにいるとき大雨が降ってきたら、どんなことが起こりやすいと思いますか。 ・山が崩れる ・木が倒れる ・道路が土でふさがれる スライド2-2-2を提示 ◇山の土が多く水分を含んでもろくなると、この絵のようなことが起こることもあります。 ◇それは、どのようなことが確かめてみましょう。 スライド2-2-3を提示 ◇けがをしないために、自分ならどうしますか。 ＜共通＞ ・用がないときは外に出ない ・一緒にいる大人の指示に従う ＜山の近く＞ ・がけや山肌など危ない所に近づかない スライド2-2-4を提示 3 大雨が上がったらどんな危険があるか考える。 スライド5-1を提示 ◇大雨が上がったら、どんなことが起こりやすいと思いますか。 ・川の水が増える・水が道に上がる・流れが急になる スライド5-2を提示 ◇これらの危険から身を守るにはどうすればいいでしょう。 ・雨上がりにも危険がいっぱいだから気を付ける	○学校や地域の場所が、「まち」の部分が多いか「山の近く」が多いかで①と②のどちらを先に扱うか決めるとよい。それにより、導入の扱いが変わってくる。(多い方を先に扱う) ○スライドの場面絵から、危険な状況や場所を想像させる。 ○準備した白板(移動白板)か白模造紙(黒板に貼る)にスライドを映す。(書き込みが可能) ○スライドの絵のどこが危険だと思うか理由も一緒に考えさせ、見つけた児童に発表させる。 ○発表する児童には、前に出させて指示棒等で危険箇所をさし示して理由も発表させる。 ○児童がさし示した危険箇所に、丸印をつける。 ○スライドを見せて、主な危険を説明する。場面は同じなので同じ白板か白模造紙に映す。 ○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方があるか意見を引き出すようにする。 ○何枚も後のスライドに飛ぶので、映像が映らないようにする。 ○身近な校区内の川の名前や場所を具体的に挙げて、イメージさせる。 ○危険な状況をイメージさせ、注意喚起する。 ☆予想される危険な事態について理解できたか。 ☆気象災害が身の回りで起こることを理解できたか。
ま と め	4 身を守るために大切なことを確認する。 ◇大雨のとき、また、雨が上がったとき、どのようなことが大切でしたか。	○大雨に応じた対応を確認する。 ○気象の変化に気付いた場合は、安全に行動できるように指導する。 ☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	短学活「大雨だ！」1年①
協 力 団 体	